

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安曇野の農と食伝承事業
事業主体 (連絡先)	安曇野市農業再生協議会 (事務局：安曇野市農政課 0263-71-2427)
事業区分	(6) イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,016,288円 (うち支援金：774,000円)

事業内容

- ・若い世代へ安曇野らしい食文化を継承するため、また、市内直売所・加工所の活性化に向け情報発信をした。
(Instagram、YouTube を活用)
- ・動画を活用し、市内小中学校へ伝統食の食育啓発を図った。
- ・若手女性農業者の現状を把握し、女性農業者のつながりづくりを支援した。



【女性農業者座談会】



【動画撮影】▶

【目標・ねらい】

- ①日頃農業になじみのない人に農業に親しみをもってもらう
- ②女性農業者の世代間交流を図り、つながりづくりのスキームを作る

事業効果

- ① SNS を活用した情報発信では、若い世代や子育て世代を中心に約 220 名のフォロワーを獲得することができた。また、取り組み賛同者 (情報発信協力者) も増えた。
- ② 動画を活用し、教育委員会と連携して地域の伝統食の PR を図ることができた。
- ③ この取り組みをきっかけに、市 HP への地域の食文化紹介ページの開設、地域の人材 (農村生活マイスター) の書籍の取材などにつなげることができた。
- ④ 女性農業者のつながりづくりのスキーム作り、これからの本市の農村文化の継承のあり方について検証し、専門家からの提案を受け、今後の事業の取り組みの方向性を定めることができた。

※自己評価【B】

【理由】・今まで地元の農や食に興味のなかった人たちにも、情報に触れるきっかけづくりをすることができた。
・教育委員会と連携し、地域の伝統食等の啓発 (食育) にも取り組み、次年度以降の発展的取り組みにつなげた。
・女性農業者のつながりづくりができた。

今後の取り組み

- ・元気づくり支援金の活用により、動画制作等に取り組むことができ、それをきっかけとして、日頃農業になじみのない人に農業や地域の伝統食等に親しみをもってもらうためのさまざまなツール、人とのつながりを作ることができた。

ただ、元気づくり支援金の事業期間内に動画制作はできても、その年度内に季節に合わせた情報発信をするのが難しいという課題が出てしまったため、次年度以降は支援金を活用させていただいた2年間のノウハウと人とのつながり、動画等の完成品を活用しながら、自主財源により、引き続きこの事業に取り組んでいきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある